



企業に
未来基準の
元気を!

アドバンテッジ健康経営支援サービス

2018/08

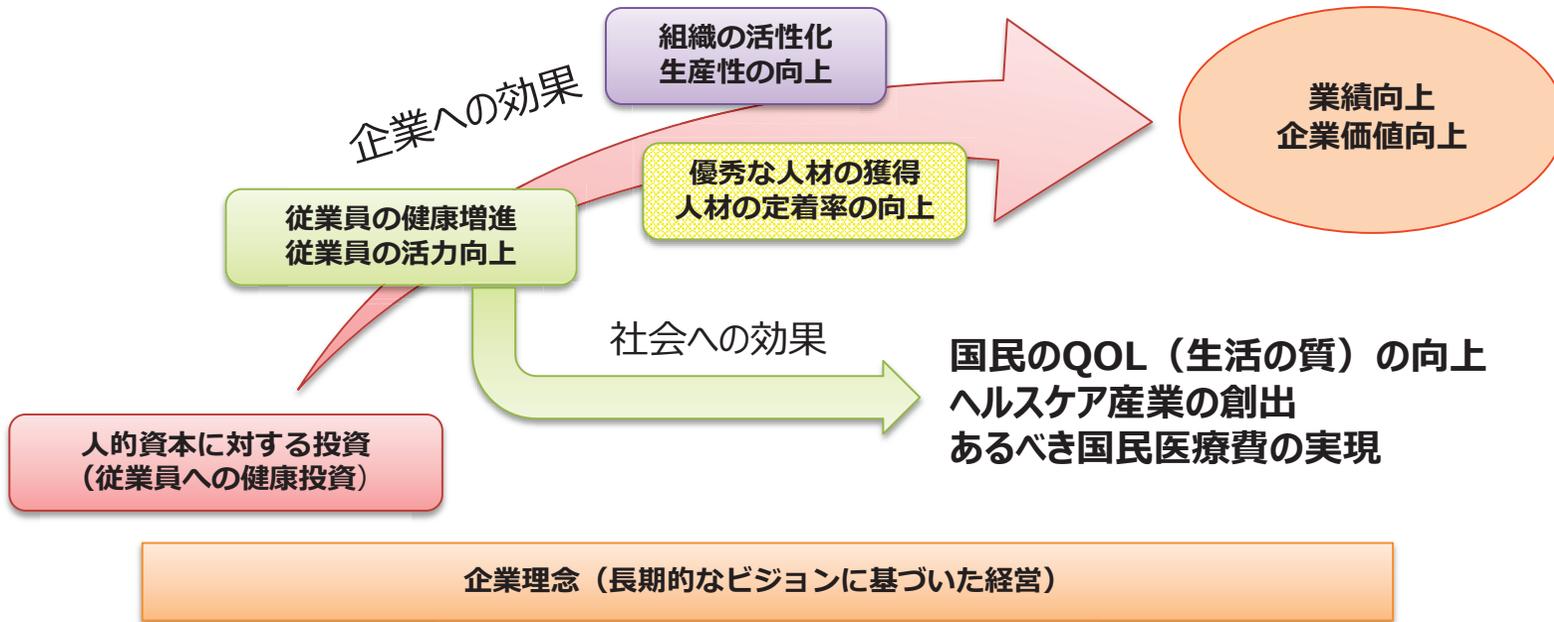
株式会社アドバンテッジリスクマネジメント

「健康経営」とは

従業員の健康保持・増進の取組が、将来的に収益性等を高める投資であるとの考えの下、健康管理を経済的視点から考え、戦略的に実践すること。

『健康経営』の意義

企業が経営理念に基づき、従業員の健康保持・増進に取り組むことは、従業員の活力向上や生産性の向上等の組織の活性化をもたらし、結果的に業績向上や組織としての価値向上へ繋がる事が期待される。



出典：経済産業省「企業の健康経営ガイドブック」

経産省などの「健康経営」を表彰する制度が大企業から中小企業まで拡大

	【健康経営銘柄】	健康経営優良法人 【大規模法人部門】 (ホワイト500)	健康経営優良法人 【中小規模法人部門】
	 <p>健康経営銘柄 Health and Productivity</p>	 <p>健康経営優良法人 Health and productivity ホワイト500</p>	 <p>健康経営優良法人 Health and productivity</p>
製造業その他	東京証券取引所 上場会社	301人以上	300人以下
卸売業		101人以上	100人以下
小売業		51人以上	50人以下
医療法人・サービス業		101人以上	100人以下

健康経営銘柄選定及びホワイト500（大規模法人部門）2018認定要件

健康経営銘柄選定2018必須要件及び健康経営優良法人2018(大規模法人部門)の認定基準

大項目	中項目	小項目	評価項目	認定要件②
1. 経営理念(経営者の自覚)			健康宣言の社内外への発信（アニュアルレポートや統合報告書等での発信）	必須
2. 組織体制		経営層の体制	健康づくり責任者が役員以上	必須
		保険者との連携	健保等保険者と連携	
3. 制度・施策実行	従業員の健康課題の把握と必要な対策の検討	健康課題の把握	①定期健診受診率（実質100%）	左記①～⑮のうち12項目以上
			②受診勧奨の取り組み	
		対策の検討	③50人未満の事業場におけるストレスチェックの実施	
			④健康増進・過重労働防止に向けた具体的目標(計画)の設定	
	健康経営の実践に向けた基礎的な土台づくりとワークエンゲイジメント	ヘルスリテラシーの向上	⑤管理職又は一般社員に対する教育機会の設定	
		ワークライフバランスの推進	⑥適切な働き方実現に向けた取り組み	
		職場の活性化	⑦コミュニケーションの促進に向けた取り組み	
		病気の治療と仕事の両立支援	⑧病気の治療と仕事の両立の促進に向けた取り組み(⑮以外)	
		保健指導	⑨保健指導の実施及び特定保健指導実施機会の提供に関する取り組み	
			健康増進・生活習慣病予防対策	
	⑪運動機会の増進に向けた取り組み			
	従業員の心と身体への健康づくりに向けた具体的対策		⑫受動喫煙対策に関する取り組み （※「健康経営優良法人2019」の認定基準では必須項目とする）	
		感染症予防対策	⑬従業員の感染症予防に向けた取り組み	
過重労働対策		⑭長時間労働者への対応に関する取り組み		
メンタルヘルス対策		⑮不調者への対応に関する取り組み		
取組の質の確保	専門資格者の関与	産業医又は保健師が健康保持・増進の立案・検討に関与	必須	
4. 評価・改善	取組の効果検証	健康保持・増進を目的とした導入施策への効果検証を実施	必須	
5. 法令遵守・リスクマネジメント		定期健診を実施していること(自主申告)	必須	
		健保等保険者による特定健康診査・特定保健指導の実施（自主申告）		
		50人以上の事業場におけるストレスチェックを実施していること(自主申告)		
		従業員の健康管理に関連する法令について重大な違反をしていないこと(自主申告)		

経済産業省「健康経営銘柄2018」及び「健康経営優良法人(大規模法人)2018へ向けて」平成29年9月より抜粋

アドバンテッジ健康経営支援の位置づけ

コンサルティング

NEW

健康経営 支援サービス

ストラクチャー・プロセス評価支援

データ分析支援

健康施策の見直し支援

KPI設定支援

人材採用

アドバンテッジ インサイト

メンタルタフネスな人材を見極める採用適性検査

採用適性検査

採用選考サポート

内定者フォロー

採用適性検査の結果を活かした
新入社員研修プログラム

メンタルヘルスケア/職場改善

一次予防

メンタルヘルス不調の予防・未然防止

二次予防

メンタル不調予備軍の早期発見・早期対応

三次予防

休職者が長期化/再発しない仕組みづくり

アドバンテッジ タフネス

ストレスチェック/組織診断

eラーニング/集合研修

医師面接

パルスサーベイ wevox

短いスパンで組織の状態を把握しPDCAを回す

カウンセリングサービス

復職者支援・危機介入など

組織改善コンサルティング

ストレスチェック結果に基づく集団分析・改善

タフネス・アップ

ストレス対処スキルを高める指導

研修

ラインケア研修・ハラスメント研修・EQ理論を用いた研修など

就業障がい者支援

GLTD (団体長期障害所得補償保険)

人材採用強化、定着率向上策

精神疾患を含む、病気やケガによる
就業障害時の所得補償制度

人事制度、福利厚生の見直し

体制整備支援

産業医サービス

メンタル分野に特化した産業医を紹介

健診結果管理システム

心身データ融合・分析を行う

H-ARM-ONLY

休職者・復職者 管理サービス

アドバンテッジ健康経営支援サービスの概要

サービス名		概要	
1	アドバンテッジ健康経営支援サービス ※2.不要の場合	ストラクチャー・プロセス評価支援	<input type="checkbox"/> 経営理念・方針の確認（明文化レベル、情報開示レベル） <input type="checkbox"/> 組織体制の確認（経営層の関与レベル、体制整備レベル） <input type="checkbox"/> 実施施策の確認 <input type="checkbox"/> 健康課題の整合性確認（課題の設定内容、施策との紐づけ）
		KPI設定支援	<input type="checkbox"/> 健康施策の評価確認（実施の測定レベル） <input type="checkbox"/> 各施策のKPIの適切性評価
2	アドバンテッジ健康経営支援サービス	データ分析支援	<input type="checkbox"/> データ分析による健康課題の検証（検査項目別リスク該当の把握、全国・業種平均との比較 など） <input type="checkbox"/> アウトカム評価（リスク該当と結果指標（プレゼンティーズム、エンゲージメント）との相関分析）
		健康施策の見直し支援 KPI設定支援	<input type="checkbox"/> 分析結果に基づく施策の優先順位評価 <input type="checkbox"/> 施策の見直し案の提案 <input type="checkbox"/> 分析結果に基づくKPIの再設定

アドバンテッジ健康経営支援サービスの特徴

□ 生産性の効果測定ができます

プレゼンティーズム、アブセンティーズムとエンゲージメントや健康リスク因子との相関分析を行い、生産性と健康被害との関係を定量的に評価します。

□ フィジカルとメンタルの総合分析ができます

健康診断結果だけでなく、ストレスチェックやエンゲージメントなど、フィジカル・メンタルのリスクを総合的に可視化します。

□ 豊富なメンタルヘルスケアの実績があります。

1700社でのストレスチェック、メンタルヘルスケアの実績をもとに、効果的なメンタル施策の実施方法をご提案します。

□ 健診結果管理システムとデータ連携します。

健診結果管理システムをご利用の場合、データ分析の際に課題となるデータの正確性を担保することができます。

アウトカムの評価実施により、

- ①具体的な実効性のあるPDCAの実施が可能になります。
- ②無駄のない健康施策の選択が可能になります。

正確で負担の小さい分析を行うことができます。

**スリムで
無駄のない
健康経営の推進**